

東京農工大学 名誉教授 板橋 久雄

東京大学大学院農学研究科博士課程修了後、農水省東北農業試験場畜産部研究員、同畜産試験場生理部研究室長、同部長を経て、1995年より東京農工大学農学部生物生産学科教授。2007年に退職後は日本獣医生命科学大学客員教授として比較栄養学を担当、現在に至る。

専門は反芻家畜の栄養生理学で、第一胃内の微生物の生態と代謝、第一胃内からのメタン発生の低減、乳牛の飼養給与技術、食品副産物類の飼料利用などの研究に従事。

2008年より全国酪農業協同組合連合会技術顧問にも従事し、現在では、(社)畜産技術協会理事、(財)農業技術協会理事、日本国際酪農連盟酪農専門部会長、毎日新聞社農業コンクール中央審査委員、環境省温室効果ガス排出量算定検討会農業分科会長などを務め、学会活動では、ルーメン研究会長を務めている。

主な著書：家畜栄養学(共著、川島書店)、動物飼養学(共著、養賢堂)、新ルーメンの世界(編著、農文協)、反芻動物の栄養生理学(共著、農文協)など。